

【報告】『第1回 のみ SDGs 専門分科会』

9月22日(水)に、「第1回のみ SDGs 専門分科会」を開催しました。



今年度、能美市ではSDGsを推進していく3つのテーマを中心に取り組みます。

<のみ SDGs 今年度の取組>

- ①SDGsを身近に感じてもらえるように、様々な情報が詰まったホームページ、SDGsの取り組み方を相談できる窓口の設置
- ②市民団体や企業などがSDGsパートナーとなって様々な地域活動を行えるような制度の構築
- ③SDGsの推進による変化を捉えるものさしとして能美市独自の指標づくり

のみ SDGs 専門分科会は、この3つのテーマを具現化するための意見交換や実現のアイデア、資源を共有いただく場です。

初めての開催となる今回は、専門分科会メンバー同士の自己紹介も行いながら、「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」について意見交換を行いました。

<ディスカッション1 で出たアイデア、意見>

『暮らしやすさを日本一、実感できるまち』とは？

- ・ 田園風景など身近に豊かな自然があること
- ・ 老若男女問わず市民に身近な自然を守る意識があること
- ・ 若い人も高齢者も、コミュニティでつながり活躍できるまち
- ・ 文化、国籍、言葉の違いがあっても能美市民として安心して生き生きと暮らせる
- ・ 住んでいる人が能美市の魅力を知っていて、「ここが良い！」と言える
- ・ コロナ禍にあっても地域が協力し合って知恵を出し合う場の確保
- ・ 誇れる特産品、ブランドが掘り起こされ、見える化されている
- ・ 働くことの不安がない





専門分科会メンバーには、市内の企業で働く方、能美市へ移住された方、町会で活躍される方、大学生など性別問わず幅広い年齢層の方にお集まりいただいています。

それぞれの経験や知見を活かし、多角的な視点でディスカッションをしていただきました。SDGsの基礎となる環境、社会、経済の3分野がカバーされつつ、これまで市役所内では触れられなかった角度からも意見が多数あがり、能美市民の思う「暮らしやすさ」の姿を描くことができました。

後半は、各分科会テーマに沿って、他自治体の事例にも触れながら概要を確認。それぞれのテーマについて理解を深めていただき、目指す方向性やこれからの課題について話し合いました。

<ディスカッション2で出たアイデア、意見>

情報発信分科会

- ・能美市としてどんなコンテンツを中心に発信するのか、方向性の整理が必要
- ・SDGsへの関心が薄い人も覗きたくなるようなHPにしたい
- ・子ども、学生の調べ学習にも使えるHPだと、ふるさと愛を育むきっかけになる
- ・相談窓口は気軽に市民が集まってSDGsについて話せるような空間づくりにつなげたい

パートナーシップ制度分科会

- SDGs を共通言語として取り組みを推進するパートナーシップ制度にしたい
- SDGs 宣言などをした企業へは、助成による支援や生産・開発の支援、資金調達支援などできると良いのではないか
- 非営利組織との連携も促進できる制度づくり
- SDGs に関する仲間を広げていくイメージ

のみ指標分科会

- 自然の豊かさを測って、自分たちが守るべき自然を見える化する
- 地域のお祭りやラジオ体操への参加数の変化を数字で見る
- 人がつながった後にどんなまちの姿になっていたら良いのかも指標になるのではないか
- 年代・職業・性別・文化・習慣関係なく交流できる機会の数、多様性を受け入れる場所を指標で測るのはどうか

のみ指標 定量評価 or 定性評価
「変化」を見る時の基盤

何を見ればいいのか? → どのようにつなぐのか? → どこを目指したのか? → どのようにならなければならないのか?

- 人のつながり (強さ? 広がり?)
 - 祭りの参加率、ラジオ体操
 - 新しく住み始めた人の地域活動参加
 - まちの誰もしらぬところ
 - 他人同士のつながり (近所の人)
 - 同質性・異質性 (年代・職業・性別・...)
- 自然の豊かさ
 - 多様性? → 文化・習慣
 - まちの初めに来た後々入れる
- 同質性・異質性
 - 留学生 → 99世代・100年代 → 文化・習慣
 - 同質 = 守る
 - 異質 = 新しく入れる

人とつながる人々をどうするの。 (... 関わり続けること...)

同質性への継続可能性は高い

受け皿は必要

どう生きるか
が変化する

ディスカッション1で話した「暮らしやすさ日本一」の内容も踏まえ、具体的なアイデアや、「こうなったらいいな」という素直な気持ちを話しながら、活発に議論が進みました。

地域とのつながりを軸にした意見、誰でも参加できる仕組みを目指す意見など、能美市民のお人柄を感じられる声が印象的でした。「誰ひとり取り残さない」というSDGsの原則との重なりも感じます。

第2回以降も、メンバーのみなさまと意見を出し合いながら、「能美市らしい」SDGsを形作っていきたいと思います。